

平野ヶ丘



多治見市立養正小学校
校報『平野ヶ丘』

令和4年度 学校報 第11号
令和5年1月30日(月)発行
「みなさまのおかげで、本年度
創立150周年を迎えました。」



『心の中は、春に向かってウキウキ・ワクワク』

←1月28日に、養正公民館で子どもたちと餅つきを楽しみました！

校長 熊崎 健一

大寒は、二十四節気（1年の気候を24の節目に分けたもの）の第24番目。次は、第1番目の立春ですから、いよいよ春の足音が聞こえる季節となっていきます。今年の大寒は1月20日でした。大寒は1年で最も寒い日とされていますが、今年は大寒の後に“10年に一度の寒波”に見舞われ、各地で影響を受けています。何とか大事なく春を迎えたいものですね。さて、少し前のことになりますが、冬休み明け集会でお話したことを紹介します。

「みなさんが今の学年・学級でいられるのは、あと2ヶ月半くらいです。その時間をどのように過ごして欲しいかお話しします。簡単にいえば「自信をもって進級・進学する準備の時間」にして欲しいということです。1年生から5年生のみなさんは、4月から学年が一つずつ上がります。そして、6年生のみなさんは中学生になります。「学年が上がったら、中学生になったら頑張ろう！」ということもあるでしょう。でも、それまでに今の学年を“ちゃんと終わる”ということが大切です。4月から自分でがんばってきたことの一つ一つが本物の力になっているか？最初はお家の人や先生に教えてもらっていたことが、自分で考えてちゃんとできるようになっているか？そんなことを確かめながら生活してください。人と比べるのではなく、前の自分と比べてできるようになったことをたくさん確かめ、自信をもってください。その自信は、みなさんの4月の進級・進学を楽しみなものにしてくれます。自信をもって楽しい気持ちでスタートすれば、きっと良いことがたくさん待っています。「自分の力で頑張るよ！」「自分でできることがいっぱい増えたよ！」そうやって自信をもって生活するみなさんの姿を見ることは、先生たちの自信にもなります。だから、一緒に頑張っていきましょう。」

今しばらく寒さ厳しい日は続きそうですが、心の中は春に向かってウキウキ・ワクワクの毎日を過ごして欲しいものです。2月15日（水）には、今年度最後となる『養正教育の日』もあります。みなさま、ご参会をよろしくお願ひします。



奇跡ふたたび！ ～ また、お便りが届きました！ ～

1月23日(月)。また、風船のお返事が届きました。今回は、山梨県南巨摩（みなみこま）郡南部町の南部町立睦合（むつあい）小学校5年生のみなさんからです。画用紙4枚のメッセージカードを送ってくれました。全校児童92名、南部町の天然記念物に指定されている『センダン』の木をシンボルツリーにもつ学校です。温暖な気候で雨は多く、特産品としてはお茶やタケノコが有名だそうです。また、歴史ある学校で来年度150周年を迎えるそうです。地図で探してみると、前号で紹介した静岡県富士宮市のとなり町ということが分かりました。さっそくお昼の放送で紹介して職員室前に掲示すると、多くの子どもたちが足を止めて見入っていました。前回のお便りも嬉しかったのですが、今回は同じ小学校からのお便りということで、喜びも増したのではないのでしょうか？これで、確率は 1/500 から1/250と倍になりました！もし3度目のお便りがあれば、それはもう“奇跡”ではありません！睦合小学校5年生のみなさん、ありがとう！学校あてにお礼のお手紙を送りましたが、子どもたちが何か交流できたなら“なかよしの輪”が広がります。

